

売木村発 ICTと地域人材の連携による高齢者見守り・健康支援・孤立化防止モデル実証PRJ.(MBTリンク(株))

背景

1. 社会的背景

急速な高齢化が進展、医療・介護の需要が急増

2. 生活者ニーズ

高齢者世帯の日常の安心と離れて暮らす家族の安心と異変時の早期対応が切実なニーズ

3. 政策ニーズ

介護士・ケアマネ・民生委員の不足から新しい見守り仕組みの構築が急務

目的&実証内容

1. 電力センサーとAIを活用した低侵襲型の日常生活の見守りと、変化の早期発見による重症化予防と医療費削減。
2. 異常時の音、声をcatchして緊急時対応。
3. AIアバターとの日常会話による孤立化防止。
4. AIアバターとの会話を通じた認知機能の変化のチェック。
5. 上記による安心安全の暮らしの実現と政策ニーズの解決
6. 地域サポーターとICT連携による地域包括ケアモデルの構築と全国展開の可能性の検討。

IOT技術の概要

家電データで健康見守り

自宅の分電盤に設置したセンサーからの家電の消費電力をAIにより分析。1分単位の使用データを基に、奈良県立医科大学の医学的知見に基づいて生活スコアを採点。体調の変化の兆しを捉えて通知する事により行動変容を促し、病気の早期発見と医療費削減につなげる。スコアは毎日連絡する。又、この日常の見守りに加えて、緊急時も、音声機能付AIスマートプラグにより、音、音声もキャッチして対応するので、安心安全な生活の維持が可能となる。更に、ライフインサイトAIアバターといつでも日常会話を楽しむことが出来るサービスも提供し、孤立化を予防することに寄与する。又、この会話を通じて認知機能の変化もAIが分析するため認知症の予防にも寄与する。



ライフスタイルセンシングサポーター

IOTの両輪となる「人」として、ライフスタイルセンシングサポーターを養成しています。こころ検定有資格者とも連携して、高齢者の地域との繋がりの希薄化を予防し、地域コミュニティの更なる再生を図ります。

実証体制&目標

当プロジェクトは、単なる見積もりサービスだけではなくICT企業、医科大学、医療機関、自治体、地域人材が連携する地域包括ケアモデルです。令和10年度目標に、社会リソースと連携しプロジェクトの確実な遂行を図ります。